令和８年度　第２回明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会　議事録

日　時：令和８年９月 30 日（水）
10：00～12：00
場　所：恵那市役所　災害対策室

■あいさつ　まちづくり企画部長：松田泰明

大変お忙しいご出席感謝する。
ご承知のとおりこの協議会は、明知鉄道を基軸とした地域交通ネットワークを構築しており、中津川市と恵那市で連携を図りながら、持続可能な地域公共交通を目指している協議会である。
ここ最近では、ご承知の方もいるかと思うが、VIVANT のドラマの効果があり、非常に岩村地域がにぎわっている。また、明知鉄道のラッピングも行い、大変多くのお客に乗車いただいている。シルバーウィークでいうと、令和 7 年度と比較すると、7 倍の方が岩村の地域を訪れているとのことです。
これらの取り組みは、ドラマを誘致したからであり、官民一体となって取り組んだ成果の一つだと思う。行政と民間が一緒になって地域の活性化につながっている。これは公共交通についても同じことが言えると考えているところである。
本日議題は二つ。1 つ目は、明知鉄道、その沿線地域の公共交通計画の策定に向け、現在見直しをかけているところであり、それに向け様々なご意見をいただければと思う。活発なご意見をお願いし、挨拶に代えさせていただく。よろしくお願いしたい。

■資料の確認：井手課長

■議　題

1. 明知鉄道沿線地域公共交通計画の策定について
2. 明知鉄道沿線地域公共交通計画及び別紙の一部改定について

協議事項１　明知鉄道沿線地域公共交通計画の策定について	
松田会長	事務局に説明を求める。
事務局	第 1 号議案説明 概要：計画策定に向け、実施したアンケート結果の報告及び、目標基本方針、目指すべき交通体系について、協議を行う。
安藤委員	アンケート及び明知鉄道の現状を説明いただいたが、旧恵那市の地域の人たちは、なかなか利用しない現状はしょうがないと感じている。 企画列車等は、他県、観光客から見ると珍しいが、地域の方から見たら、よく食べるもの。地域の方に体験、乗車いただこうとすると、交流のある、例えばポーランドであったりそういったものを取り入れるのも一つだと感じている。
本多委員	アンケートの結果を見せていただき、認識を改めた。 阿木に住む方の２８％ほどが、日常生活で明知鉄道を使っており、大切な移動手

	段であると感じる。 地域検討会を阿木地域でも実施していただいた。検討会を実施することは大切であり意義がある感じている。こういった会議を継続的に実施していただきたい。 アンケートの中身を地域へ返していただけると、地域からさらに声が出てくると感じた。
永冶委員	観光の観点からご意見を言わせていただく。 市民アンケートも大事であるが、アンケートの内容について、深堀することが大切であると感じている。使いたい市民のニーズをくみ取るアンケートを実施していただきたい。
楠本委員	アンケート結果より、明知鉄道と JR の接続が大切であるというご意見多くあったかと思う。明知鉄道と連携しながら、対応していきたい。
渡辺委員	観光振興とまちづくりを一体的に進めていく中で、今後の鉄道についても、大切に考えていただきたい。VIVANT のラッピング後の定期外の利用が前年比 125%増加している。一方で、コロナ以前と比べると通学定期５％減っている現状である。高校生や学生が減っていく現状があるため、観光振興は大切となっていくと感じている。
羽柴委員	東濃鉄道の明智線について、恵那市、瑞浪市に補填をいただき、一般の方向けの運賃を安く設定している。それの効果もあり、乗客が増えている現状である。 観光のお客が増えれば、明知鉄道を利用する方も増える。そうなると、相乗効果で増えることが予測される。ぜひ一緒になって観光振興に力を入れていきたい。
山田委員	ここ 10 年で学生がだいぶ減っている現状。また、アンケートより、存続よりも利便性の改善を求める声多くある。とは言いつつも、乗務員不足が加速しており、厳しい現状は理解いただきたい。 現在恵那市とも連携しながら、デマンド交通の市域の拡大、地域を超えた運行についても検討しており、実施向け進めていきたい。
松井委員	市民からの意見で、増便等の意見は多くある。そうなると行き違いの施設について、現状で増便できるのか、新たに整備するのかその考えを伺いたい。
渡辺委員	行き違い設備が現状岩村駅のみ。現在のダイヤが精いっぱいであり、新たに設備する必要がある。行き違い設備の整備ができれば、JR にあわせたパターンダイヤもできる。
石野委員	計画の目標の中で利用促進という言葉が出てくる。公共好通の担い手の確保、育成が重要である。また国としても重要と考えている。 地域に密着した担い手の確保は、こういった協議会が大切となっている。今回、目標の中で拡充と記載いただいている。ぜひ取り組みをお願いしたい。
川口委員	とても丁寧に進めていただいているといった印象である。 岐阜県内地方鉄道は、明知鉄道以外にもあり、知事の考えとして、地域における地域の足のニーズだけでは、先細りしていく。いかに、地域外から人を呼び込むかが、存続の鍵であると考えている。そのためには、まちづくりを核とした地域

	交通の進行が重要である。また、沿線地域の連動が大切である。
佐藤委員	アンケート調査を見ると、3 割強なにがあっても利用しないという方がいる現状。域外から来た人に利用してもらい、沿線を楽しんでもらう。観光振興が重要であると感じている。 P21 基本方針を定めているが、目標 3 が観光面の目標だと思われるが、もう少し強めにうちだしてもいいのではないかと感じている。
事務局	来訪者の需要をどう考えていくか、恵那市全体、沿線全体で考える必要がある。 こちらについては、整理をさせていただきださせていただく。
小林委員	公共交通が利用者が増えれば、事故、渋滞が減れば、警察としても安心安全な道路交通の確立につながる。警察としても協力していきたい。
鈴木委員	私ごとではあるが、明知鉄道で通っているときによく見ると、定期を使っている方もいるが、回数券を使って乗っている方も多くいる。 属性が違う、見方もあると思われる。参考までに共有させていただく。
前川委員	地域イベントと連携した記載もあったが、そういったイベント時は、駐車場が混雑する。そういった時、公共交通が重要となっている。そこについての整備、周知について強化していただきたい。
加藤委員	計画について、目新しいもの何もない。 検討会を行っているという実績があるが、行っているだけでなにも進展していいない。また、私自身恵那市の開催している検討会、地域住民の集まる場所へ行ったことがない。変わらないといけない地域なのに、なにも進展していない。 ２年でこうするといった方針を立てるであったり、課題のあるところを重点を決める等ないと検討だけでは何の意味もない。 ある自治体では、地域から呼ばれ焚き付けを行ってほしいといわれる。そういったこともある。地域も変わろうとしてない。 明知鉄道の行き違い施設は何十年も事業として記載があるが、全く進んでいない。できないなら書かなくてもよい。いつまでたっても検討。 自分が担当している自治体の計画に書いてもらっているのが、５年後の姿を記載いただいている。 5 年後のイメージがわかない。何が変わるのか、何が良くなるのかを記載することが重要。 現状であきらめている市民にどれだけやる気を出させるか、そういったことを記載しないといけない。 利用者の占有率が大切。沿線の高校生が何人いて、その学生のなかに明知鉄道で通える生徒が１００いるうち何%利用している、定期を持っている生徒がどれだけいるかなど把握する必要がある。 基本方針の記載について、観光目線の部分が何一つ記載がない。 インバウンドの需要がすごく、お金を落としていく。そういった中でどういったことができるか。観光タクシー等の施策であったりやれることはいっぱいある。

	そういったことも記載していくべきである。 免許返納の記載を入れるべきであり、免許返納した方がしっかりと移動できる交通ネットワークを作る。 送迎が交通空白地で問題視している。 送迎している人が自家用有償運送にすれば、収入源となる。 事例だが、デマンド交通の輸送手段について、昼夜では異なる運用をしている地域がある。夜については、居酒屋の店員が運転手で、夜の運用している。 １１月の会議で施策の説明があると思うが、より具体的に示していただきたい。 本日参加の委員もプレイヤーとして考えてほしい。他人事はだめである。 住民の皆さんに、この会議に参加している委員が伝えるべきである。この会議の委員が主体的に動き、それぞれの役割を明確に計画にも記載するべきである。
事務局	審議は見送り。 今後具体的な基本方針・事業を進める。一度相談させていただく。
協議事項２　明知鉄道沿線地域公共交通計画及び別紙の一部改定について	
事務局	第２号議案説明 概要：国の地域公共交通確保維持改善事業におけるフィーダー系統補助金の対象系統の一部変更を行うことに伴い、計画の一部改定及び運輸局へ届出の変更を申請するもの。
山田委員	大野押山間の乗客いないという実態もある現状、また乗務員の勤務状況の改善を実施し、持続的な運行のための改正である。ご理解をお願いしたい。
石野委員	国のフィーダー補助金の申請にあたっては、必要な協議である。ご理解をお願いしたい。
加藤委員	系統の変更は、恵那市の公共交通会議で諮り、補助金のみ、この協議会で諮るのか。この協議自体何の意味もない。 例えば、委任するといった方法でもいいのではないのか。この協議会では、報告で済ませるべきである。決議を諮る意味がない。
事務局	今後の進め方については、岐阜運輸支局とお話をさせていただく。
加藤委員	観光フィーダーについて、対象となるのか、しっかりと調べてもらえるお金もらうべきである。
事務局	一度運輸局に確認し、整理を行う。